

# Chapter 1

## SIMPLE DAILY ENGLISH

女性のための、毎日使いたくなる・  
日常で瞬時に出てくる、  
短くて上品な英語

- Part 1 気持ちや考えが伝わる一言+フレーズ
- Part 2 様々なシーンで使えるシンプルフレーズ
- Part 3 旅先でとても役立つシンプルフレーズ
- Bonus 旅先でとても役立つ会話のサンプル



# LULL

なだめる

🔊 007

**Calm down...**

(落ち着いて…)

**It's OK...**

(大丈夫だよ…)

**Relax...**

(リラックスして…)

**Take it easy!**

(無理しないで!)

**It will be fine!**

(よくなるよ!)

**Everything will be OK...**

(全部良くなるよ…)

## Notes:

**Everything will be OK...** の直訳は、「全部良くなるよ」だが、「何も心配することないよ」といったニュアンス。

\*大きな声をあげて泣いている人や子供がいたら、「Shhhh」と静かになだめたりもします。その場合は優しく相手を撫でながら…

# TOUCHED

感動する

🔊 008

**I'm moved.**

「心を動かされた」というようなニュアンス。

**I'm touched.**

「心に触る・響いた」というようなニュアンス。

**I'm impressed.**

(感心したよ)

**It's breathtaking.**

(息をのむほど美しいと思う時に使います)

**I'm speechless.**

(言葉で言い表せないほど感動した)

**It was emotional.**

(感情的だった)

**I'm blown away.**

(吹き飛ばされるくらい感動した)

旅先でとても役立つ会話のサンプル  
～カフェ編～



TRAVEL SCENE:

Café

Café

▶▶ 046

カフェで使えるスタイリッシュ英会話

海外にはおしゃれでヘルシーなカフェがたくさんあります。  
そんな素敵なカフェに入ったときに  
流暢な英語で注文ができれば、楽しいですね。

REETING (挨拶)

海外では、注文をする時に店員さんが“Hi, how are you?”  
と気さくに挨拶してくれるのが一般的です。  
注文する側も、以下のように簡単な返事をすれば完璧です。

Hi, I'm pretty good, how are you?

(こんにちは、とても良いですよ。ご機嫌いかがですか?)

Hi, I'm good, how about you?

(こんにちは、良いですよ。ご機嫌いかがですか?)

すると店員さんは、

I'm good too, thank you.

(私もとても良いですよ、ありがとうございます)

と注文へと会話は流れていきます。

※忙しい時間帯のカフェでは、挨拶抜きの場合もあります。  
そういった時も、最初に“Hi”や“Hello”を注文する側もされる側も言う素敵です。

一言添えるだけで、素敵に聞こえる英語！

## I was wondering... (想起・思い起こす)

I was wondering... は、何かを尋ねる時、  
センテンスの前に添えるとエレガントな響きに…

### I was wondering if you could go with me...

(一緒に来ていただけますか?)

### I was wondering if I could borrow it?

(お借りしてもいいですか?)

## perhaps

perhaps は「多分、おそらく」と同じ意味ですが、言い回しが  
エレガント。perhapsと添えるだけで、上品な響きに。

例 1 :

### It wasn't his taste? (彼の好みじゃなかったの?)

### Perhaps... (多分ね)

例 2 : \* 遠回しに、また上品に何かを尋ねる時などにも使います

### Perhaps we could go together...?

(一緒に行きませんか?)

## I am afraid...

I am afraid... は断る時や、伝えにくいことを  
上品に言う時に使うフレーズ。

### I am afraid I can't go that day...

(その日は残念ですが行けません)

### I am afraid to tell you but...

(申し上げにくいのですが…)

## ...please

...please は、頼み事をするときやお願いをするとき、  
センテンスの後に添えると感じがよく聞こえます。

### Could you pass me that book, please?

(その本を取っていただけますか?)

### Could you show me again, please?

(もう一度見せていただけますか?)